

2025年日本将棋連盟愛知県支部連合会支部長・将棋指導員合同会議

2025年11月（資料の公開のみ）

- 1 2025年1月総会以降の取組み
 - (1) 東海普及連合会の普及活動と愛知県支部連合会の役割
 - (2) 総会以降の主な取組み
- 2 当面の動向

1 2025年1月総会以降の取組み

2025年1月26日（日）に、愛旅連ビル3階会議室において、第31回日本将棋連盟愛知県支部連合会総会を31名の参加を得て、開催いたしました。

主な議題は「2024年の活動のまとめ及び2025年の課題」、「2024年度の会計報告及び2025年度予算(案)」、「役員体制について」でしん会長を渋谷文博、新幹事長を加太義暁とし、内容につきましても、ご説明・ご報告させていただき、それぞれ承認されたところです。

なお、これらの資料については、日本将棋連盟東海普及連合会のホームページに掲載いたしております。

また東海地域での普及活動の推進、将棋大会・将棋イベントの実施に当たっては、愛知県内での開催が多いことから、それらの運営を円滑に進めるためには東海普及連合会及び愛知県支部連合会の連携・協力が不可欠です。このため、この報告も愛知県支部連合会の取組み、東海普及連合会の普及活動も含めて両方について記載しています。

(1) 東海普及連合会の普及活動と愛知県支部連合会の役割

東海普及連合会は平成23年4月にプロ棋士とアマチュアの共同普及組織として発足しました。

その（趣旨及び目的）、（組織と役割）は次のとおりです。

（趣旨及び目的）

東海普及連合会は、公益社団法人日本将棋連盟の普及方針に基づき、東海地域に在住するプロ棋士とアマチュア組織である愛知県支部連合会、岐阜県支部連合会及び三重県支部連合会と共同で東海地域における将棋普及の事業を行う。

（組織と役割）

東海普及連合会は、東海地域に在住する棋士、指導棋士及び女流棋士並びに愛知県支部連合会、岐阜県支部連合会及び三重県支部連合会で構成する。

東海普及連合会は自ら将棋の普及事業を行うとともに、愛知県支部連合会、岐阜県支部連合会及び三重県支部連合会に対し、将棋の普及活動に関する指導、調整及び助言を行う。

これに基づき、役員体制は、中田章道七段が会長に、副会長には杉本昌隆八段、事務局長には中山則男六段が就任し、幹事には東海地域関係の棋士、さらには愛知県・岐阜県・三重県の支部連合会会長が就任しています。そして、東海三県関係者による普及推進の会議を2か月に1回開催しています。

また、改めての状況説明となりますが、将棋の普及推進の根本的取組みは、平成23年4月に公益社団法人として体制を整備した「公益社団法人日本将棋連盟」（以下、「（公社）日本将棋連盟」と記載します。）が担っているところです。

そして、全国各地における組織的な普及活動の基礎となるのが、日本将棋連盟支部であり、（公社）日本将棋連盟と連携して支部の拡充・支援に努めています。また、支部は（公社）日本将棋連盟及び当該地域の日本将棋連盟支部連合会と協力して活動を行うこととされています。

こうした状況を踏まえ、愛知県支部連合会は、愛知県内の支部と連携しつつ、（公社）日本将棋連盟及び東海普及連合会と緊密な連携を保ち、普及活動の支援を行っています。

こうした状況を背景に、東海地域での将棋普及のネットワークは、支部及び将棋指導員の存在が大きな支えとなっています。このネットワークをより活性化させて、「こどもたちがどこに住んでいても１時間程度で将棋を学べる環境を整備する」ことを目標に取り組んでいます。

愛知県内支部の状況

東海４県 支部・支部会員数 （２０２４年９月１日現在）

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
支部数	３８	９	７	１８	６１６
支部会員数	１２８６	１７７	１１５	５１２	１４２２５
個人会員数	５９	８	１５	２１	６２８

東海４県 支部・支部会員数 （２０２５年１０月３０日現在）

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
支部数	３８	９	７	１７	５７６
支部会員数	１０３９	２００	１２３	４９６	１３５０８
個人会員数	３１	４	９	１０	５５４

愛知県支部連合会役員会の定期開催と県連会報の毎月発行

平成７年２月から役員会を定期開催。令和７年１０月１８日（土）で第３６９回を開催。県連会報については、平成７年３月創刊号から令和７年１０月号で、第３６８号を発行。

岐阜・三重県支部連合会との連携強化

平成２３年４月に設立された東海普及連合会は、プロとアマチュアの共同普及組織としての役割を發揮して、地域に根ざした普及活動を様々な形で展開してきています。また、岐阜・三重県連とともに支部会員の拡大に向けて取組みを継続しています。（平成２０年１２月から２カ月に１回定期的に会議を開催、原則、偶数月の第３水曜日１６：００～）

普及指導員体制の状況

東海４県 将棋指導員数 （２０２４年９月１日現在）

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
棋道正師範	１	-	-	１	５
棋道師範	１０	-	-	-	２６
棋道指導員	２７	５	３	２	１０６
将棋指導員	１３０	２０	６	１４	８３４
指導員補佐	７	-	-	１	２１

東海4県 将棋指導員数 (2025年10月30日現在)

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
棋道正師範	1	-	-	1	5
棋道師範	10	-	-	-	26
棋道指導員	28	5	3	1	107
将棋指導員	136	25	7	15	883
指導員補佐	9	1	1		28

令和6年度将棋普及指導員資格審査名古屋会場受験者12名(全員合格)

令和7年度将棋普及指導員資格審査名古屋会場受験者13名(全員合格)

将棋普及領域の継続

児童館、公民館、支部教室に加えて、各種カルチャセンター、学習塾、文化センターなどで実施。

東海研修会

(公社)日本将棋連盟では、将棋を通じて健全な少年少女の育成を目指すための機関、また、女流棋士養成機関として、全国に6か所(関東研修会、関西研修会、東海研修会、九州研修会、北海道研修会、東北研修会)開催しています。

東海研修会については、これまで東海普及連合会が独自の運営で開催してきましたが、令和2年4月からは、(公社)日本将棋連盟の運営となりました。これにより会場も名古屋・栄の山岳会館から、名古屋・大須の万松寺へと移動しました。原則として第2日曜・第4日曜に定例開催となっています。

栄将棋教室への協力＝東海地域の将棋の中心として欠くことのできない存在
平成24年7月から水曜トーナメントを実施、毎週火曜日午後シニアデー。

(2) 総会以降の主な取組み

将棋指導者講習会

令和7年1月26日(日)に、愛旅連ビル3階会議室にて開催。(愛知県支部連合会総会終了後に実施)
(公社)日本将棋連盟から、片上大輔常務理事、飯塚祐紀八段、普及推進部から杉浦伸洋 普及推進部長、磯辺丈敏部員が出席されました。参加者は30名でした。

公文杯第50回小学生将棋名人戦愛知県大会

公文杯第50回小学生名人戦については、令和6年11月4日(月振休)に、名古屋港湾会館にて開催。(今回から小学6年生も参加可能)県大会には71名が参加しました。

名古屋市児童館講師団会議

令和7年3月30日(日)、栄将棋教室にて名古屋市児童館講師団会議を開催。(12名参加)

令和7年度将棋指導員資格審査

令和7年4月6日(日)、桜華会館にて実施。13名が参加。(13名全員合格)
中山則男指導棋士六段等が審査員として出席。

第8回名城大学杯将棋大会

令和7年6月15日(日)、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにて、名城大学杯将棋大会(同時に第38回全国高等学校将棋竜王戦愛知県予選も実施)を実施。名城大学杯には201名参加。(高校竜王戦には66名参加)指導対局には杉本昌隆八段始め11名出席。

第21回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦愛知県大会

令和7年6月1日(日)、名古屋港湾会館にて実施。中学校の部は午前10時から、小学校の部は午後1時15分から、同一会場で時間をずらして実施。

中学校の部には21チーム、小学校の部には18チームが参加。

また、徳田拳士四段が指導対局を行いました。

第9回名古屋城こども王位戦

令和7年8月2日(土)、吹上ホールにて第9回名古屋城こども王位戦を開催。

801名が参加。指導棋士として木村一基九段はじめ10名が出席。

大会の各クラス上位2名が9月20日(土)、名古屋城本丸御殿対局を行い、その後、指導対局・表彰式を実施。(上位2名が対局し、優勝者が藤井聡太七冠、準優勝者が木村一基九段の指導将棋を受けました。)

東海団体リーグ戦 1993年9月から開始、5人制団体オープン戦を原則4か月で開催。

令和7年9月から第94回が開始(A10、B10、C10、計30チーム)

現在、県連幹事を中心に事務局体制を構成して対応。

2 当面の動向

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、将棋イベントや大会、各種教室・講座等の中止や延期が相次ぎましたが、2023年5月の感染症法上の分類変更(「2類」から「5類」へ)以降は、社会活動もおおむね平常に戻り、将棋界においても大会・イベントが通常開催されるようになりました。感染症への一定の注意は引き続き必要ではあるものの、活動環境は概ね安定してきたといえます。

(公社)日本将棋連盟は2024年9月8日に創立100周年を迎え、記念式典の開催や、東京・大阪両将棋会館の新会館開設など、大きな節目の年となりました。前日の9月7日には「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」が開催され、当時の羽生善治会長より普及方針が示されました。その中で、「藤井竜王・名人が八冠を達成し将棋界がかつてない注目を集めた一方、コロナ禍の影響や人口減少、少子化、趣味の多様化といった課題は依然として続いており、今こそ一過性のブームに終わらず地に足のついた活動が肝要である」との見解が述べられています。

その後、2025年6月6日の棋士総会では、清水市代女流七段が初の女性会長として就任し、新体制が発足しました。女流棋戦では白玲戦に順位戦制度(A~D級)が導入され対局機会が増加するなど、女流棋界の活性化が進んでいます。また、棋聖戦など主要棋戦の賞金見直しなども行われ、将棋界全体として新たな発展の機運が高まっています。

一方で、藤井聡太六冠(竜王・名人・王位・棋聖・王将・棋王)となり、伊藤匠二冠(叡王・王座)が誕生するなど、若手棋士の活躍が目立ち、タイトル戦は群雄割拠の兆しが見え始めています。将棋界の注目度は依然として高く、地域での支部活動や大会運営にも追い風となる状況が続いています。

愛知県支部連合会としても、こうした社会的関心の高まりを一過性のものにせず、継続的な普及・育成

活動につなげることが重要と考えます。具体的には、支部間の連携を深め、各地域での大会・教室・例会を通じて、子どもから大人まで幅広い層が将棋に親しむ場を提供してまいります。また、普及指導員の活動支援や、女性・シニア・初心者層の参加機会の拡充にも努め、地域に根ざした将棋文化の振興を目指します。

今後とも、将棋イベント、大会、支部活動、例会等が着実に進展し、より多くの方々に将棋の魅力が広がっていくことを祈念いたします。

（当面の行事・イベント等）

（１）将棋日本シリーズＪＴプロ公式戦及びテーブルマークこども大会東海大会

令和７年１０月１２日（土）ポートメッセ名古屋にて ９５５名参加 開催済み

（２）小学生将棋名人戦 愛知県大会

令和７年１１月２４日（月・休）愛旅連ビル会議室

（３）第１０５回中部職域団体対抗将棋大会

令和７年１１月２９日（土）名古屋港湾会館

（４）第８回熱田こども将棋大会

令和８年２月１５日（日）熱田神宮文化殿で実施予定

（５）愛知県支部連合会総会

令和８年１月３１日（土）１６：３０～１７：４０頃に実施予定

県連総会の予定議題

２０２５年の活動のまとめ及び２０２６年の取組

２０２５年度会計報告及び２０２６年度予算

役員体制について

活動報告等

（６）支部名人戦、支部対抗戦及びシニア名人戦愛知県大会

令和８年２月１日（日）名古屋港湾会館にて実施予定

（６）日本将棋連盟将棋指導者講習会

令和８年１月２４日（土）１４：００～１６：３０頃に実施予定。

（７）将棋指導員の新規申込について

資格要件 支部会員、免状三段（女性二段）、将棋普及に熱意のある方
締め切り 令和８年２月２８日（土）

資格審査 令和８年４月５日（日）桜華会館で実施予定。

以上